



## インドネシア・ハサヌディン大学工学部土木工学科と 理工学部がインターンシップ覚書を締結

### 【概要】

インドネシアのハサヌディン大学工学部の教員3名が理工学部を訪問し、国際交流を促進するための意見交換と、本学の都市工学部門とハサヌディン大学工学部土木工学科間のインターンシップに関わる覚書を交わしました。

### 【本文】

2023年11月22日(水)にインドネシアのハサヌディン大学工学部(Faculty of Engineering, Hasanuddin University)のTri Harianto教授(土木工学科)、Jalaluddin Haddada教授(機械工学科)、Ilyas Renreng教授(機械工学科)の3名が理工学部を訪問されました。Tri教授とJalaluddin教授は本学で博士の学位を取得されています。ハサヌディン大学とは、本学の戦略的パートナーシッププロジェクトに基づいた国際交流深化のための積極的な交流が行われており、2023年には、本学の都市工学部門の教員と学生が3月、8月、9月に同大学を短期訪問しています。

意見交換会には、理工学部長の佐藤 和也 教授をはじめ、宮良 明男 教授、日野 剛徳 教授、Islam Khan 学部長補佐・准教授、三島 悠一郎 講師が参加し、昨今の国際交流に関わる情報交換、効果的な人材派遣・受入方法の協議やスケジュールの提案など、極めて有益な議論がなされました。また、本学の都市工学部門とハサヌディン大学土木工学科の間でインターンシップの覚書が締結されました。交換留学ならびに課程教育は国際的な人材育成にとって重要ですが、その促進には前段階となる導入プログラムも必要です。現在、段階的な交流プログラムを計画しており、今回覚書が交わされたインターンシップはその計画の第一弾となります。

これからインターンシップに向けた準備が進められ、実施は来年度となる予定です。今後、両大学の益々の交流活性化と更なる人材育成が期待されます。



ハサヌディン大学の教員（左から Tri 教授, Jalaluddin 教授, Ilyas 教授）



覚書締結の記念撮影